

令和7年度 第1回女川町地域公共交通会議 議事録

1. 日 時：令和7年11月17日（月） 15：00～16:30
2. 場 所：女川町役場庁舎 3階大会議室
3. 報 告：（1）女川町地域公共交通に係る KPI の進捗状況について
（2）モビリティ研究会における検討状況について
4. その他

■議事概要

（1）女川町地域公共交通に係る KPI の進捗状況について

○事務局から（1）の説明後、質疑をおこなった。

A委員 アンケート調査の実施について、毎年実施するものではないと認識しているが、次回はいつ頃の実施を予定されているのか。各 KPI については、調査結果を基に未達成の項目について策を講じる必要があるため、中間の段階である程度確認できる体制が望ましい。

次に「イベント等の開催実績」や「住民参加の回数」という指標があるが、具体的にどのような取り組みが行われてきたかを補足いただきたい。

最後に、JR の利用者が増加傾向にあるが、なぜ増加したのかについて把握されていればお伺いしたい。

事務局 1点目のアンケート調査の予定については具体的な日程は決まっていないが、ご指摘のとおり計画の中間で調査を行い、中間の段階で数値を確認していきたいと考えている。

2点目のイベント等の開催について、まず小学生を対象とした授業をトヨタ自動車東日本株式会社と共同で実施しており、モビリティ事業に関連した作品の展示会などを実施している。また、住民参加では昨年度にモビリティ研究会を立ち上げ、各種団体や町民バスの利用者の方にご参加いただき、今後の女川町の公共交通についての検討を行っている。

3点目の JR の利用者数増加について、まずコロナ禍からの回復が想定されることに加え、JR 側で様々なイベント列車や町内イベント等に合わせた臨時便の運行等の企画を行っていただいたため、利用者数が増加したのではないかと思われる。

B委員 まずは町側で鉄道と連携したバスの時刻調整や時刻表への掲載などに取り組んでいただき感謝申し上げます。臨時列車の運行などを通して取り組みを進めたいと考えているため、引き続きよろしくお伺いしたい。

鉄道利用者については、利用者数を公表しており、石巻線においては2025年度の運行については1日あたり906名となっている。また、2024年度の収支状況については、収入1億2000万円に対し、費用10億8300万円のため、9億6300万円の赤字となっている。石巻線だけではなく、他の地方路線も含めて利用者数を伸ばし、路線を維持していく必要があるという点は

課題であると考えているため、引き続き連携しながら取り組ませていただきたい。

利用者数については、弊社で 2024 年度の女川駅の乗車人員が 1 日あたり 187 人という数字を公表しており、365 日を掛けて算出しているものと認識している。また、その内定期券利用者が 187 人中 90 人存在する。例えば 2022 年度においては乗車人員が 1 日当たり 177 人に対して定期券利用者が 93 人、定期券以外が 84 人のため、2022 年度と 2024 年度を比較すると定期券利用者は数名しか増えていないため、主に鉄道は利用しないがたまに利用する方が増加したのではないかと思われる。女川町の場合は定期利用者が過去 5 年間 100 人弱で推移しており、定期以外の利用者で主に増減があるという状況となっている。そのため、定期利用者が大切になる点に加えて町に人を呼び込む観光利用等を増やしていくことが 1 つのやり方としてあるのではないかと感じている。そのため、厳しい路線ではありますが、我々としても利用者の増加や公共交通を維持するという点では設備のスリム化など、なるべく人をかけずに取り組むという点も含めて持続可能なものになるように取り組んでいくため、引き続きよろしくお願い申し上げます。

C 委員

アンケート調査にて把握する指標について、これは町民バス・ミヤコーバス・JR が対象であると認識している一方、利用者数の指標については JR とミヤコーバスのみとなっており、町民バスの利用者数がどのように推移しているのかが不明である。例えば、利用者全体の中で利便性やわかりやすさが増加したとしても、どの公共交通に対して向上したのかがわかるような指標のほうがよろしいかと思われる。

事務局

今後アンケート調査を実施する際には、各公共交通に基づいた分析が行えるよう、内容は検討させていただきたい。なお、町民バスの年間利用者数は約 2 万 2000～3000 人で推移している。また、町民バスの時刻表についてより見やすいように改正を行っており、町民からは前より見やすくなったというご意見も伺っている。

(2) モビリティ研究会における検討状況について

○事務局から(2)の説明後、以下の質疑をおこなった。

A 委員

モビリティ研究会の参加者について、各回で参加者数が自然発生的に増加しているのか、参加状況について伺いたい。

事務局

参加者への周知について、町の広報誌や公式 SNS で周知を行っているほか、キックオフ講演会に参加された方については個別にメールでご案内している。第 1 回の研究会では一般住民の方にご参加はいただけなかったものの、第 2 回の開催に向けて社会福祉協議会にご協力いただきながら、地域の方に個別にお声がけいただき、一般住民にも参加いただけている。今後も参加していただいた方に個別の案内を行いつつ、参加されていない方に対しても周知を行いたいと考えている。

また、2回目のモビリティ研究会に参加いただいた方の中には SNS を見て参加いただいた方もいらっしゃるため、研究会の帰り際に今後も参加いただきたい旨をお伝えしている。参加いただいた方からの口コミで広がることも想定されるため、引き続き周知に努めていきたい。

A 委員

承知した。

一方で、研究会の参加者だけで議論していくと、具体的に議論した内容を実行するとなれば、実現が難しい内容なども色々出てくると思われる。そのためこちらからも適切な情報を提示しながらコントロールすることが非常に難しい点だと思われるが、そのあたりで何か問題になっている点などはあるか。

事務局

研究会ではどの水準まで行うのかというアイデアは出ているが、一方で現実的な選択肢として町側からも情報提供をさせていただきながら行っている。例えば、町民バスのコストが1年間でどの程度発生しているなど、利用者を増やす一方でどれだけコストをかけられるのかを参加者にもご理解いただきながら進めていきたい。

D 委員

今回の協議内容から外れるかもしれないが、議会では針浜付近でフリー区間を増やしてほしいという要望も出ているが、この点について何か検討は進められているのか。

事務局

議会でもフリー区間についてご意見をいただいているところである。モビリティ研究会において、参加者から意見が出ているのがデマンド交通であり、参加者の方々にとって利用しやすい仕組みがどういうものなのかについてご意見をいただきながら進めている。一方で予約が入ったときのみ運行するというサービスであるため、行政的にも効率化を図れる部分もあり、そのほかの手段としてバス停の新設やフリー区間の設定などについても参加者と議論しているところであり、より使い勝手の良い町民バスへ再編を行っていきたい。

D 委員

デマンド交通の導入には数年掛かると思われる。そのため、その前に対応可能な策について検討した方が良いのではないか。

事務局

デマンド交通の導入は、ご指摘の通り導入まで時間が掛かる。針浜区長からはバス停の移設で構わないという話はいただいているため、バス停の移設などをはじめとして町としても柔軟に対応していきたい。

A 委員

町民バスの乗降調査結果について、詳細なデータをまとめていただいたため、今後の検討に役立てられると思われるが、そのためにはより細かい分析を行う必要があると考えている。例えば「まちなか線」については方面別に分けて結果を整理されており、例えばバス停「旭が丘集会所前」ではいずれの方面でも乗車人数が降車人数を上回っており、行きは町民バスを利用するが、帰りは別の方法で帰宅しているという実態があることが確認できる。

1点確認だが、この調査では行きで利用した方が帰りにも利用しているかまでは把握可能な調査なのか。

事務局

行きで利用した方が帰りにどのような利用をしているのかという個人ま

では把握できない調査となっているが、ご指摘のあったまちなか線も含めて詳細な分析を進めていきたい。

A委員 承知した。色々と分析すればある程度の想定はつくと思われるため、その点をしっかりと分析した上で再編を検討いただきたい。

その際に、調査のデータだけではなく、例えば病院で受け付けをした後に何時頃に終わることが多いのかなど、公共交通以外のデータとの組み合わせでの分析も考えられるため、よろしく願いしたい。

事務局 いただいたご意見については、実際に利用される方の行動に係るデータも含めて分析を進めていきたい。

A委員 南三陸町の地域公共交通会議にも参加しているため、そちらの状況をお伝えしたい。南三陸町ではデマンド交通に切り替えたことにより、従来の路線バスで利用できなかった方が帰りも利用できるようになるなど、従来運行していたバスの時間とは別の時間帯に利用している方も存在するため、それなりに使い勝手は良くなっているという印象を受ける。

一方で、課題としてデマンド交通としての運行効率の悪さがあり、それぞれの人に合わせて運行すると、次の人が同じような時間で利用できなくなってしまい、結果的に1台に1人しか利用されない状況にもなる。そのため、そのあたりのバランスの取れた内容を検討いただきたい。

(4) その他

○特になし。

以上